

■ 地方創生推進交付金事業令和2年度実績及び紀北町地方創生会議委員の意見

■地方創生推進交付金事業 令和2年度実績、KPI 達成状況及び紀北町地方創生会議委員の意見

【連携事業分】

No.	事業名	実績額（円）	事業概要	K P I (重要業績評価指標)	目標 年月	実 績	達成 状況	今後の 取組方針	紀北町地方創生会議 委員の意見
1	<p>こころ豊かにしごとと子育てができる移住促進事業</p> <p>連携市町： 5市町 (尾鷲市、熊野市、御浜町、紀宝町、紀北町)</p> <p>所管： 生涯学習課、福祉保健課、企画課</p>	<p>5,227,400</p> <p>(交付金充当額)</p> <p>2,613,700</p>	<p>「誰もがこころ豊かに暮らせる地域」として東紀州5市町一体となって官民協働で移住促進に取り組む。本取り組みにおいては、移住先で安心して暮らすための就労支援の強化、地域の特徴に応じたライフスタイル提案、地域ぐるみの子育て支援の実施、これらを持続的に実施するための仕組みづくり及び人材育成に取り組み、都市部からの移住希望者受け入れ体制を充実化し、都市部へ5市町連携による情報発信を行い、都市部の幅広い年齢層に向けて移住の促進を図ります。</p> <p>①子育てと健康づくり関連事業 ②子どもの読み聞かせ等体験事業 ③子どものふれあい交流促進事業 ④学校公演事業 ⑤働く世代に向けての移住・定住・交流促進事業</p>	<p>KPI① 移住に係る行政窓口（空き家の情報提供や移住体験などを担当する各市町の定住移住関連担当窓口）を活用した東紀州地域への移住者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状値 65人 R2 目標値 25人 R3 目標値 35人 ⇒ R4 目標値 45人 <p>KPI② 地域内のテレワーカーの人数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状値 0人 R2 目標値 0人 R3 目標値 6人 ⇒ R4 目標値 12人 <p>KPI③ 移住相談会での相談件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状値 25回 R2 目標値 20回 R3 目標値 35回 ⇒ R4 目標値 50回 	R5.3	<p>【実施内容】</p> <p>〈ソフト事業〉</p> <p>①子育てと健康づくり関連事業 1,360千円</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 講演会等委託料 ・子育て講演会 (2) スポーツ講習会、親子グラウンドゴルフ大会開催委託料 <p>②子どもの読み聞かせ体験事業 10千円</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 読み聞かせプラス幼児向けモノづくりイベントの開催報償費 <p>④学校公演事業 900千円</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 公演会の実施 <p>⑤働く世代に向けての移住・定住・交流促進事業 0円</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 就業情報誌作製・都市部での移住相談会出展等 <p>〈ハード事業〉</p> <p>②子どもの読み聞かせ体験事業 500千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童図書館の購入 <p>③子どものふれあい交流促進事業 2,458千円</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 児童公園への遊具設置 遊具2ヶ所 <p>【KPI 実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ KPI① 56人 (○) (25人→81人) ・ KPI② 1人 (○) (0人→1人) ・ KPI③ Δ4回 (×) (20回→16回) 	△	<p>KPI①③は、近隣府県からの移住者が多いため、継続してPRを行う。ポストコロナを見据え、都心部でのニーズの把握やオンライン等でのPR内容・方法等を検討していく。</p>	<p>長期滞在も考えると、空き家の活用や民泊が重要なのではと思います。全体としても取り組み、紀北町としても何か考えられるとよいと思う。町内に民泊を始めた方もいるので、準備ができる今のうちに、何か取り組んでおく必要があると思う。町に来た人たちがストレスなく過ごせ、皆さんと交流しながら、1つの関係人口になっていくためには、受け皿を考えていく上で、民泊というキーワードは需要だと思っています。</p>

【連携事業分】

No.	事業名	実績額 (円)	事業概要	K P I (重要業績評価指 標)	目標 年月	実 績	達成 状況	今後の取組方針	紀北町地方創生会議 委員の意見
2	<p>新型コロナ ウイルス終 息後の国内 および外国 人観光客に 対するおも てなし向上 推進事業</p> <p>連携：県・ 5市町 (三重県、 尾鷲市、熊 野市、御浜 町、紀宝町、 紀北町)</p> <p>実施主体： 東紀州地域 振興公社</p> <p>所管： 商工観光 課、 企画課</p>	<p>1,800,000</p> <p>(交付金充当 額)</p> <p>900,000</p>	<p>令和2年4月に公の機関であつた東紀州地域振興公社を民営化し、一般社団法人東紀州地域振興公社を設立した。この一般社団法人が民間の立場で地域内の事業者等のリーダー役となり新型コロナウイルスの影響により機能不全となった本地域の観光振興の立て直しを図るため、以下の事業を実施する。</p> <p>1 通過型観光から滞在型観光への転換に向けた受入態勢の向上</p> <p>2 マーケティング戦略の構築と滞在型観光への転換に向けたPR及び情報発信の充実</p>	<p>KPI①</p> <p>新たに達成したツアーの延べ参加者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状値 0人 ⇒ R2 目標値(増加分) 0人 R3 目標値(増加分) 30人 R4 目標値(増加分) 50人 <p>KPI②</p> <p>東紀州地域における観光入込客数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状値 2,274千人 ⇒ R2 目標値(増加分) 0千人 R3 目標値(増加分) 30千人 R4 目標値(増加分) 30千人 <p>KPI③</p> <p>東紀州地域における旅行消費額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状値 18,801百万円 ⇒ R2 目標値(増加分) 0百万円 R3 目標値(増加分) 500百万円 R4 目標値(増加分) 500百万円 	R5.3	<p>【実施内容】</p> <p>①通過型観光から滞在型観光への転換に向けた受け入れ態勢の整備</p> <p>(1) 過型観光から滞在型観光への転換に向けたおもてなし向上推進事業 5,400千円</p> <p>(2) 滞在型観光を促進するための宿泊施設及び体験メニュー等整備促進事業 1,660千円</p> <p>②マーケティング戦略の構築と滞在型観光への転換に向けたPR及び情報発信の充実</p> <p>(1) マーケティング戦略強化事業 2,800千円</p> <p>(2) 東紀州の観光情報等を掲載したウェブサイト等整備事業 6,000千円</p> <p>(3) 国内観光集客促進事業 4,650千円</p> <p>【K P I 実績】</p> <p>KPI① 0人(△) (0人→0人)</p> <p>KPI② △739人(×) (2,274千人→1,535千人)</p> <p>KPI③ △3,967百万円(×) (18,801百万円%→14,834百万円)</p>	×	<p>令和2度は新型コロナウ イルスの影響による観光 客の動向の変化を考慮し て、日本人及び外国人の個 人観光客に対する地域の 受入環境の整備とマーケ ティング戦略の構築等を 行う。また、通過型観光か ら滞在型観光への転換を 進めるという認識のもと、 マーケティング戦略に基 づいた民泊等の新たな宿 泊施設の整備促進、体験メ ニューの開発、PR・情報発 信の充実を図り、観光関連 事業者と連携した新型コ ロonavirus感染防止対 策等に取り組む、安全・安心 して訪れることのできる 環境づくりを実施し、3年 後を目途にインバウンド 需要が回復した折に対応 できる受入環境の確立を 目指す。</p>	<p>外国人に限らず、テレワー クや二地域居住など、これ から町の多くの人に関わ ってこることが増える可 能性がある。多文化共生を しっかりしていく必要が ある。</p>